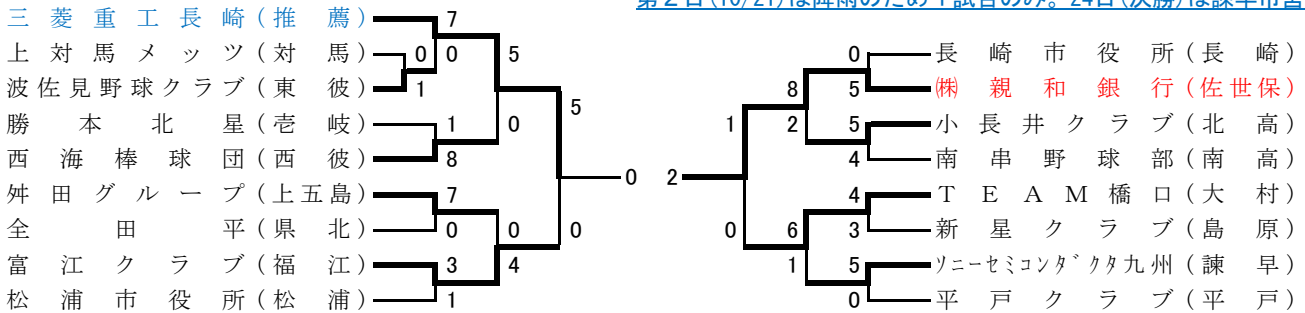


親銀が重工の3連覇を阻止したのは雨天順延した諫早球場

第51回長崎県軟式野球選手権大会

会期：平成13年10月20日(土)～21日(日)、11/23(金)～24(土)
会場：県営ビッグNスタジアム、かきどまり野球場

第2日(10/21)は降雨のため1試合のみ。24日(決勝)は諫早市営。



(平成13年10月21日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

【上対馬】打安点

③9	内山田	2	0	0
④	平間	3	0	0
①	財部	3	0	0
②	扇昭	3	0	0
⑧	野方	3	0	0
⑤	中村	2	0	0
⑦	米田周	1	0	0
H7	扇拓	1	1	0
⑥	米田昌	2	0	0
⑨	扇博	1	0	0
3	福田和	1	0	0
		22	1	0

波佐見クラブ、1点を守りきる

【一回戦】(ビッグN：第1試合) 振球犠盗失併残

上対馬メッツ	000	000	0	0	7	1	0	1	5	0	6
波佐見野球クラブ	000	100	X	1	2	2	0	1	1	0	6

【二】前川、馬場

【評】波佐見クラブは四回に先頭の馬場が二塁打で出塁すると安藤が三塁前バントで送り、三塁手の低投が重なって馬場が還りこれが決勝点となった。3年ぶり二度目出場した遠来の上対馬メッツは1安打を放っただけで、反撃機を生み出せないまま、今回も勝ち星を挙げられなかった。

【波佐見】打安点

②	樋渡	3	2	0
⑦	前川	3	1	0
③	河野	3	0	0
⑧	馬場	2	1	0
⑤	安藤	3	1	0
⑥	吉村	2	0	0
①	長谷	3	0	0
⑨	一川	2	0	0
④	福田	2	1	0
		23	6	0

【西海】打安点

⑥	川口	3	1	0
②	宮崎和	2	1	2
⑤	船木	3	0	0
③	太田	3	0	0
⑧	宮崎薫	2	0	0
①	増山	3	2	0
⑨	辻尾	2	2	2
⑦	山下	3	0	0
④	本田	2	1	1
		23	7	5

勝本北星は守備に泣く

【二回戦】(ビッグN：第2試合) 振球犠盗失併残(5回コールド)

西海棒球队	012	41	8	1	2	1	4	1	0	3
勝本北星	010	00	1	3	1	0	0	4	1	4

【三】辻尾、宮崎和

【二】増山、川口、篠原

【評】二回に増山、辻尾の長打で1点を先制した西海棒球队が三回は相手守備の乱れで2点。四回は4長短打に敵失で4点と着々加点してコールド勝ちした。勝本北星は二回裏に二塁打の篠原が中飛落球に恵まれて生還し一時は同点でしたが守備力の差が致命傷となり、7度の選手権は初出場年に挙げた2勝のみ。

【勝本】打安点

⑧	安永	3	1	0
④	小畑	3	0	0
⑤	吉本	2	0	0
②	吉村	2	0	0
⑥	篠原	2	2	0
⑨	山石	1	0	0
⑦	浦川	2	0	0
③	金城	1	0	0
3	池田	1	0	0
①	松本	1	0	0
H	山口	1	0	0
		19	3	0

【波佐見】打安点

②	樋渡	2	0	0
⑥	吉村	1	0	0
⑦	前川	2	1	0
⑧1	馬場	2	0	0
③	河野	2	1	0
⑤98	安藤	2	0	0
①5	長谷	2	0	0
⑨	一川	1	0	0
19	白木	0	0	0
④	福田	1	0	0
		15	2	0

重工長崎が攻守に圧倒

【二回戦】(ビッグN：第3試合) 振球犠盗失併残(5回コールド)

波佐見野球クラブ	000	00	0	4	1	0	0	1	0	1
三菱重工長崎	200	05x	7	0	7	0	7	0	0	5

【本】江添

【評】初回に3安打3四死球に足を絡めて2点を先取した三菱重工は、五回にも江添が右翼席上段に満塁本塁打を叩き込んだ。波佐見は三菱重工長崎のエース・守田から2安打しか奪えず、盗塁失敗や牽制球に刺されるなどチャンスを広げられなかった。

【三菱】打安点

⑦	宮本	1	1	0
⑨	菅	2	1	0
⑥	中村	1	0	0
⑧	江添	3	1	4
⑤	石川	3	1	1
③	永田	2	0	0
②	鈴木	2	1	1
①	守田	3	0	0
④	嵩下	2	0	0
		19	5	6

【全田平】打安点

⑧	坂本	2	0	0
⑤	古川	2	0	0
③	山川	2	1	0
⑦	松永	2	0	0
⑧	北島	2	0	0
④	当麻	2	0	0
⑨	永井	2	0	0
②	深見	2	0	0
①	前田	1	0	0
		17	1	0

舛田グループ積極的な攻め

【二回戦】(ビッグN：第4試合) 振球犠盗失併残

全田平	000	00	0	4	0	0	0	2	0	2
舛田グループ	601	0X	7	0	1	1	4	1	0	2

(5回コールド) 【二】和田

【評】舛田は初回に立石拓の中前打を足場に打者10人の猛攻。7安打に3盗塁を絡めた積極的な攻めで6点を奪い、早くも主導権を握って押し切った。11年ぶり9回目出場の全田平は舛田の2投手に山川の1安打。走者二人だけに抑えられ反撃の糸口をつかめずに3大会連続で初戦敗退。

【舛田】打安点

④	立石	3	1	0
⑨	角崎	2	0	0
⑥	鉄川	2	1	1
②	立石宏	2	1	1
⑤	井内	2	1	0
⑧	和田	2	1	0
③	前田	2	1	0
①	蔭山	2	1	2
1	田中	0	0	0
⑦	立石徹	2	1	1
		19	8	5

【松浦】	打	安	点		
④6	榎並	3	2	0	
⑧	松田	3	0	0	
⑥1	荒木	1	0	0	
③	田崎	2	1	1	
⑦	浜崎	2	2	0	
⑤	加藤	1	0	0	
H7	青山	1	0	0	
②	山崎	2	0	0	
①	池淵	2	0	0	
⑨	近藤	1	0	0	
H4	山藤	1	0	0	
			19	3	1

松浦市役所

反撃届かず

【二回戦】(ビッグN:第5試合) 振球犠盗失併残 (6回時間切れ)

松浦市役所	000 001	1	7	3	0	3	1	0	3
富江クラブ	003 00X	3	4	1	0	1	0	1	2

【評】富江クラブは三回二死満塁で浦が左中間を深々と破る二塁打で走者は次々とホームを踏み3点を先取して優位に立った。松浦も富江のエース・松崎の重い速球に苦しみながら懸命に反撃し、六回に榎並と佐々木の内野安打で1点を返すが届かずに、8回目の選手権は前年に続いて二度目の初戦敗退を喫して、通算で6勝8敗となった。

【富江】	打	安	点		
⑤	樽角	2	0	0	
④	柿本	2	1	0	
4	田原	0	0	0	
②	新井	2	1	0	
⑨	浦井	2	1	3	
⑧	石山	2	0	0	
⑦	馬場	2	0	0	
③	石山	2	0	0	
3	松倉	0	0	0	
⑥	川崎	2	0	0	
①	松崎	2	1	0	
			18	4	3

【長崎市】	打	安	点		
⑥	萩原哲	3	0	0	
⑨	中元	3	2	0	
⑤	山田	3	1	0	
④	萩原直	3	0	0	
③	中村	3	1	0	
②	宮崎	3	0	0	
⑧	野崎	2	0	0	
H	井川	0	0	0	
⑦	末永	2	1	0	
H	下野	1	0	0	
①	片岡	3	1	0	
			26	6	0

集中打に完封

親和銀行快勝

【二回戦】(かきどまり:第1試合) 振球犠盗失併残

長崎市役所	000 000 0	0	5	1	0	1	5	0	6
親和銀行	004 010 X	5	1	1	2	2	1	1	2

【評】親和銀行は三回、原田の左翼線を抜ける二塁打など4安打集中で4点を奪い、五回には中田の犠飛で1点を追加。投げては江口が二回以降、長崎市役所打線を2安打に抑え完封した。長崎市役所は準硬式球時代の第13回(S. 38年)以来二度目の県選手権だったが、序盤の好機を生かせず、失策が失点に結びついた。

【二】原田 徳永

【親和】	打	安	点		
④	原田	2	1	0	
⑤	徳永	2	1	1	
H	中田	0	0	1	
5	平野	0	0	0	
⑧	丸本	3	1	1	
③	添田	3	1	0	
②	沖田	2	0	0	
⑦	中村	3	0	0	
⑨	北田	3	0	0	
①	江口	2	0	0	
⑥	森山	2	1	0	
			22	5	3

【南串】	打	安	点		
⑧	山川	4	2	1	
④	豊島	4	1	0	
⑥	太田	4	1	1	
⑨	増田	2	0	0	
5	宮木	0	0	0	
③	酒井	1	0	0	
①	中村	3	0	0	
⑤9	岡	3	0	0	
②	増田	3	0	0	
⑦	富永	3	1	0	
			27	5	2

小長井クラブ

5回に逆転

【二回戦】(かきどまり:第2試合) 振球犠盗失併残

南串野球部	102 100 0	4	1	3	0	0	2	0	5
小長井クラブ	200 120 X	5	3	2	0	2	1	1	2

【三】辻 【二】太田、山川、富永
【評】2点を追う四回の小長井クラブは横田が三盗を決め二塁ゴロの間に1点。五回には辻の三塁打などで2点を奪い逆転に成功。五回以降は池田正が安定した投球で南串野球部を振り切り完投した。南串は三回に山川、豊島の連打などで3-2と一時はリードしたものの、後が続かなかった。

【小長井】	打	安	点		
②	横田	2	1	0	
⑥	辻	3	2	2	
⑤	宮崎	3	1	0	
③	新宮	2	0	0	
⑦	有田	3	0	0	
④	横田裕	3	1	0	
⑨	池田昌	3	0	0	
①	池田正	2	0	0	
⑧	鶴田	2	0	0	
			23	5	2

【新星】	打	安	点		
④	松崎	3	2	0	
⑥	北浦	3	2	3	
②	林田	3	0	0	
③	内島	3	1	0	
①	執行	3	0	0	
⑧	中尾	3	0	0	
⑦	松尾	2	0	0	
⑤	坂本幸	2	1	0	
⑨	石本	1	0	0	
H	坂本裕	1	1	0	
			24	7	3

TEAM橋口

サヨナラ勝ち

【二回戦】(かきどまり:第3試合) 振球犠盗失併残 (6回時間切れ)

新星クラブ	000 030	3	4	0	0	1	5	0	3
TEAM橋口	011 011x	4	0	2	1	3	1	1	7

【評】TEAM橋口は六回、四球と失策で三塁に進んだ辻を浅沼が遊ゴロでかえしてサヨナラ勝ちを収めた。橋口の先発・酒井は速球を武器に四回まで新星打線を1安打。五回に3点を与えたが、救援の三根が六回を3人で締めた。堅い守りも光り、選手権初出場で初勝利を飾った。

島原地区から選手権に初登場した新星クラブは北浦の2安打3打点の活躍が光った。



6回裏TEAM橋口・一死二三塁に浅沼の遊ゴロで三走の辻がサヨナラのホームイン。

【橋口】	打	安	点		
④	田中	3	0	0	
⑤9	浅沼	3	0	0	
②	大島航	3	1	0	
⑥	清水	3	0	0	
①5	酒井	2	2	2	
⑧	大島義	2	1	1	
⑨1	三根	3	0	0	
⑦	中嶋	3	0	0	
③	辻	2	0	0	
			24	4	3

ソニー投手陣

零封リレー

(6回時間切れ)

【二回戦】(かきどまり:第4試合) 振球犠盗失併残

平戸クラブ	000 000	0	6	3	0	0	1	1	3
ソニーセミコンダクタ九州	000 041	5	0	6	0	4	0	1	3

【評】ソニーは五回に突然崩れた平戸の佐々木から四球や暴投などで一挙4点を奪い勝負を決めた。投げては先発の本格左腕・峰が四回まで6奪三振。救援の増本も好投した。

平戸は粘投する佐々木を打線が援護することができなかった。

【平戸】	打	安	点		
⑧	米田	2	0	0	
⑨	井手口	3	0	0	
②	松本	3	1	0	
③	西澤	1	0	0	
⑤	阿部	2	0	0	
⑥	山下	2	0	0	
⑦	西島	2	1	0	
①	佐々木	2	0	0	
④	多胡	1	0	0	
			18	2	0

【ソニー】	打	安	点		
⑨	吉崎	2	0	0	
⑧	川下友	2	2	1	
③	平湯	3	0	0	
⑥	川原	2	0	0	
H5	中尾	1	0	0	
④	吉村	1	0	0	
H4	川田	2	0	0	
②	西川	1	0	0	
⑦	道上	3	1	0	
①	峰	1	0	0	
1	増本	0	0	0	
H	神田	0	0	0	
⑤	川下修	1	0	0	
			19	3	1

親和銀行が準決勝進出 準々決勝残り3試合は延期

大会第2日は10月21日にビッグNスタジアムとかきどまり野球場で準々決勝、準決勝の計6試合を実施する予定だったが、雨のためビッグN1試合しか行なえず、残り試合は順延された。

(平成13年10月22日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

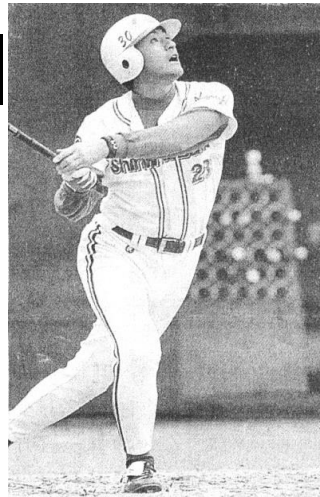
【準々決勝】ビッグN：第1試合 振球犠盗失併残

小長井クラブ	010 100 0	2	6	0	0	0	1	0	3
親和銀行	600 011 X	8	3	10	1	5	1	0	8

【二】宮崎、横田順

【評】両チームにとっては気の毒な雨の中でのプレーボールとなった。親銀は初回、雨でボールが滑るのか制球に苦しむ小長井の横田順を攻め、5四死球に丸本、中村、北田、原田のヒットなどを絡め、計6点を奪って主導権を握った。

小長井も二、四回に宮崎、横田順の二塁打を足場に1点ずつを返して食い下がったが、終盤さらに2点を奪われて力尽きた。



【小長井】打安点

⑥7 辻和	3 0 0
④ 辻英	3 0 0
①⑥ 横田順	3 2 0
⑤ 宮崎	3 1 0
② 内田	3 0 0
⑨ 横田裕	2 0 0
H 花木	1 0 0
③ 新宮	3 1 1
⑦ 池田貴	1 0 0
# 池田正	1 0 0
H 有田	1 0 0
⑧ 鶴田	2 0 0
26 4 1	

【親和】打安点

④ 原田	3 1 1
⑤ 徳永	0 0 1
H5 平野	2 0 0
⑧ 丸本	2 1 1
③ 添田	2 0 0
② 沖田	3 0 0
⑦ 中村	2 1 1
H7 中田	1 0 1
⑨ 北田	4 2 0
① 山口	1 0 1
⑥ 森山	3 0 0
23 5 6	

6回裏親和銀行一死満塁、中田が左翼深くに犠飛を打ち上げ8点目



雨天により順延となった大会第3日目は、11月23日にビッグNスタジアムで準々決勝残り3試合と準決勝の計5試合を行ない、3連覇を狙う三菱重工長崎と、3年ぶりのV奪回を目指す親和銀行が決勝に進出した。

三菱重工長崎は準々決勝で西海棒球団に先発小森の1

安打完封の好投で5-0と快勝。準決勝でも小森、石川の継投で富江クラブを零封、5-0で下した。

親和銀行は準決勝でTEAM橋口と対戦し1-0でサヨナラ勝ちした。

最終日の決勝は諫早市営球場で24日9時から行なう。

【西海】打安点

④ 宮崎和	3 0 0
⑤ 佐嘉田	2 0 0
⑦ 船木	3 0 0
② 太田孝	3 1 0
③ 太田勇	2 0 0
⑧ 宮崎薫	2 0 0
⑥ 川口	2 0 0
⑨ 山崎	2 0 0
① 増山	1 0 0
1 太田昭	1 0 0
21 1 0	

小森が好投
西海棒球団を1安打

【準々決勝】第1試合 振球犠盗失併残

西海棒球団	000 000 0	0	3	1	0	0	3	1	2
三菱重工長崎	101 102 X	5	1	6	3	0	0	0	6

【評】三菱重工長崎が小森の1安打完封の好投で西海棒球団を寄せ付けなかった。

小森は球威こそなかったが直球と変化球を両サイドに集め四球わずか1個と抜群の制球力を誇り、バックも無失策と堅守でこたえた。打線は5安打で5点と効果的な攻めを見せ、初回無死三塁から中村の内野ゴロの間に先制。三回には押し出し四球。四回は敵失で小刻みに加点し、六回は平野のソロ本塁打などで2点を奪って勝負を決めた。

西海棒球団は太田孝の1安打と打線が沈黙。2年ぶり4度目の選手権でも1勝を挙げており、4大会連続で初戦負けなく4勝4敗。

【三菱】打安点

⑦ 宮本	1 1 0
H 松永	0 0 0
3 永田	0 0 0
⑨ 菅	2 0 0
⑥ 中村	2 0 1
③⑧ 江添	2 2 0
⑤ 石川	2 0 1
⑧ 上田	3 0 0
② 鈴木	2 0 0
① 小森	3 0 0
④ 平野	2 2 2
19 5 4	

【富江】打安点

③⑧ 石山雅	3 0 0
④ 樽角	3 1 1
⑨ 浦	2 0 0
② 川末	4 3 2
⑤ 真鳥	4 1 0
⑦ 馬場	4 0 0
⑥ 川口	4 1 0
⑧ 三尾	1 0 0
H3 福山	1 0 0
H3 田原	1 0 0
① 松崎	2 2 1
29 8 4	

富江クラブの松崎が3安打完封

【準々決勝】第2試合 振球犠盗失併残

富江クラブ	002 110 0	4	5	5	0	0	0	1	9
舛田グループ	000 000 0	0	4	5	0	2	0	0	5

【評】富江の松崎は5四死球と制球はいまひとつ。しかし伸びのある直球に変化球と緩急の投球で相手打線に的を絞らせなかった。打線も8安打と好調で、三回は一死満塁の好機を築き主砲の川末が2点適時打し主導権を握ると、四回には二死満塁から押し出し四球。五回には松崎が左前適時打して着実に点差を広げた。

舛田は再三、得点圏に走者を進めたが決定打が出なかった。特に初回の一死一二塁が併殺に倒れたのが惜まれる。

富江は3年ぶり11回目、舛田は5年ぶり4回目の県選手権出場。

【舛田】打安点

⑧ 立石祐	2 1 0
⑥ 角崎	1 0 0
⑤ 鉄川	3 0 0
② 立石宏	3 0 0
③ 井内	3 1 0
④ 舛田	2 0 0
H 前田	1 0 0
① 田中	1 0 0
H 蔭山	1 1 0
⑥ 山道	2 0 0
H 宝亀	1 0 0
⑦ 立石徹	2 0 0
22 3 0	

【ソニー】打安点

⑨	吉崎	3	0	0
④	川田	2	0	0
③8	平湯	3	1	0
⑧1	増本	1	0	0
⑤	吉村	3	0	0
⑦	道上	3	1	0
②	岩田	2	0	0
H	神田	1	0	0
①	水本	2	0	0
1	山嶺	0	0	0
3	西川	1	0	0
⑥	川下修	0	0	0
		21	2	0

TEAM橋口 勝負強い打撃

【準々決勝】 第3試合 振球犠盗失併残

ソニーモンターク九州	100 000 0	1	4	5	0	1	1	0	4	【三】平湯
TEAM橋口	010 320 X	6	5	4	1	0	0	1	7	清水

【評】橋口は1-1で同点の四回に清水の右越え三塁打を足場の一死三塁に浦川の内野ゴロの間に勝ち越し。さらに中嶋、三根の連打で一死満塁と好機を広げて大島航の2点適時打でこの回に3点を挙げた。続く五回にも中嶋と三根の連続適時打で2点を追加した。先発の三根は初回こそ制球が甘く1点を失ったが、二回以降は低めを丁寧突き1安打1点に抑えた。ソニー打線は2安打と沈黙。投手陣も8安打、5四死球、6失点と乱れた。

【橋口】打安点

⑤	大島航	4	1	2
②	高瀬	4	0	0
⑧	岸川	3	0	0
⑥	清水	3	2	0
⑨	大島義	2	0	0
④	浦川	3	0	1
⑦	中嶋	2	2	1
①	三根	3	3	1
③	辻	2	0	0
		26	8	5

【三菱】打安点

⑦	宮本	3	0	0
⑨	菅	1	0	0
⑥	中村	4	1	2
⑧	江添	3	1	0
⑤1	石川	4	1	0
③	永田	3	0	0
②	鈴木	4	2	0
①	小森	1	0	0
4	平野	1	0	0
④5	嵩下	2	0	0
H5	関本	1	0	0
		27	5	2

三菱重工長崎の投打が光る

【準決勝】 第4試合 振球犠盗失併残

三菱重工長崎	102 001 1	5	1	6	3	5	0	0	10	【二】鈴木
富江クラブ	000 000 0	0	3	1	0	0	3	0	2	

【評】投打の歯車がかみ合った三菱重工長崎が快勝したゲームで、好機を逃さない打撃が光った。初回は四球から一死三塁とし中村の内野ゴロの間に先制。三回には四球を選んだ菅が二三盗を決め一死三塁に中村の左前打で生還。六回と七回にも小刻みに加点した。連投の先発小森も緩急の投球で四回を無安打。五回から石川を救援に送る万全の継投策で零封した。富江は5盗塁を許すなど守備のスキを突かれた。打線も無安打を免れるのが精いっぱいだった。

【富江】打安点

⑧	石山雅	3	0	0
⑥	川口	3	0	0
⑨	浦	2	0	0
②	川末	3	0	0
⑤	真鳥	1	0	0
3	松倉	1	0	0
H	三浦	1	0	0
⑦	馬場	2	1	0
③4	福山	2	0	0
④5	三尾	2	0	0
①	松崎	2	0	0
		22	1	0

親銀がサヨナラ勝ち

【準決勝】 第5試合 振球犠盗失併残

TEAM橋口	000 000 0	0	7	1	1	0	2	0	1
親和銀行	000 000 1x	1	2	3	1	2	1	0	7

【評】親和銀行は七回先頭の北田が内野安打。二盗の間の敵失で三進し一死二三塁となったところで原田の内野ゴロが本塁へ悪送球でサヨナラゲーム。終盤まで再三逸機していたが北田の果敢な走塁が活路を開いた。

先発の江口は最終回到山口の救援を仰いだが伸びのある直球を武器に7回1/3を1安打無失点と安定性を見せた。

橋口の岸川は六回まで5安打無失点の力投を見せたが、最終回到味方の2失策で万事休した。打線もわずか1安打と不発だった。

だが選手権初出場で、前試合ではソニー長崎を圧倒し、この試合では親和銀行を苦しめたベスト4はお見事。



7回裏親和銀行一死二三塁、敵失で三走の北田が生還しサヨナラ勝ち。

【橋口】打安点

⑤	大島航	3	0	0
②	高瀬	2	0	0
①	岸川	3	0	0
⑥	清水	3	0	0
⑨	大島義	3	0	0
④	浦川	2	0	0
⑦	中嶋	2	0	0
⑧	三根	2	1	0
③	辻	2	0	0
		22	1	0

【親和】打安点

④	原田	3	0	0
⑤	徳永	3	1	0
⑧	丸本	2	0	0
③	添田	3	1	0
②	前川	3	0	0
⑦	中村	3	1	0
⑨	北田	3	1	0
①	江口	2	0	0
1	山口	1	0	0
⑥	森山	2	2	0
		25	6	0



親和銀行3年ぶりV 三菱重工長崎の3連覇阻止

【決勝戦】11/24 諫早市営 振球犠盗失併残

親和銀行	000 002 000	2	3	2	1	0	1	0	4	【二】山口
三菱重工長崎	000 000 000	0	5	1	1	1	1	0	5	

【評】親和銀行がエース山口の3安打完封の力投で息詰まる投手戦を制した。山口は高めに伸びる直球にカーブ、スライダーと高低にうまく配球。ストライクを先行させて打たせる投球がバックの堅守につながった。

打線は三回に一死二塁を逸機するなど流れが三菱重工長崎に傾きかけたが六回に再び好機を築いた。先頭の森山が三塁線を破る安打で出ると犠牲バントで二進。四球と敵失の一死満塁に4番添田が一二塁間をしぶとく抜ける右前打で二者を迎え入れた。

三菱重工長崎は準決勝までは好調だった打線が散発3安打と沈黙。四回には無安打で二死一三塁としたが後続が凡退。それ以降は好機らしい好機はなかった。先発守田は散発3安打と粘りの投球をみせた。



表彰選手	最高殊勲選手賞	添田 宏治 (親和銀行)
	最優秀投手賞	山口 淳一 (親和銀行)
	優秀選手賞	江口 正敏 (親和銀行)
	打撃賞	江添 伸治 (三菱重工)
	敢闘賞	守田 和博 (三菱重工)

【親和】	打安点	【三菱】	打安点
④原田	3 0 0	⑦宮本	4 0 0
⑤徳永	3 0 0	⑨菅	4 0 0
5平野	0 0 0	⑥中村	3 1 0
⑧丸本	4 0 0	⑧江添	4 1 0
③添田	4 1 2	⑤石川	3 0 0
②前川	4 0 0	③永田	3 1 0
⑦中村	3 0 0	②鈴木	3 0 0
H7中田	1 0 0	①守田	3 0 0
⑨北田	2 0 0	④嵩下	2 0 0
①山口	3 1 0	H4平野	1 0 0
⑥森山	3 1 0		
	30 3 2		30 3 0

6回表親和銀行一死満塁、4番添田が右前に2点適時打を放つ

投打の柱実力発揮

○…親和銀行は投打の柱が大舞台で実力を発揮。国体予選で1勝2敗と分の悪かった重工長崎に競り勝った。

守りの立役者がエース山口。速いテンポで打者を追い込み考える余裕を与えなかった。特に四回二死一三塁を無失点で切り抜け波に乗った。「打たせて取る投球を心がけたが、あの場面は力勝負

を挑んだ。完封できたので満点。打線も援護してくれたしチーム一丸の勝利」と満面の笑み。

六回に貴重な決勝点を放った4番の添田は「内角のフォーク。右にゴロを流し打てた」と、山口とは対照的にベテランらしく冷静に振り返った。

平成13年に開催されたその他の競技会の戦績① (一般のみ)

第56回国体一般B予選 6/16～:長崎

吾妻町体協野球部 (南高)	4
轟クラブ (北高)	3 3
M D O (西彼)	1 0
たちばな信用金庫 (諫早)	5 7
郷ノ浦ヤンキース (杵岐)	0 0
豊玉町野球部 (対馬)	1 4
西部ガス長崎 (長崎)	2 2
エンゼルスクラブ (佐世保)	0 1
大村市役所 (大村)	5 1
御厨ベイスターズ (松浦)	1 5
舩田グループ (上五島)	2 1
全農県本部 (長崎)	4 0
上対馬ライオンズ (対馬)	0 1
福江球友会 (福江)	0 5
生月体協 (県北)	7 0
島原市役所 (島原)	3 1
波佐見野球クラブ (東彼)	2 5
平戸クラブ (平戸)	1 8
アケン医院マッスルズ (佐世保)	2 1
A T M B (諫早)	1 1

一般Aは親和銀行と三菱重工が3戦2勝方式で行ない三菱重工が2勝1敗で代表

第56回国体成年県予選 6/30～:佐世保

佐世保西海クラブ (佐世保)
松浦壮年クラブ (松浦)
ジョーズ壮年クラブ (諫早)
大瀬戸壮年野球部 (西彼)
波佐見壮年クラブ (東彼)
ユーカスクラブ (長崎)
北松壮年 (県北)
上五島迷球会 (上五島)
豊玉壮年クラブ (対馬)
大村市役所 (大村)
メンフッズ福江 (福江)
轟壮年クラブ (北高)

8/24から長崎 (成年は諫早) で開催の九州ミニ国体では、3部門とも初戦で敗退した。

天皇賜杯第56回県予選 6/30～:諫早

美津島ホークス (対馬)	0
安中クラブ (島原)	0 13
大村市役所 (大村)	1 10
箱崎クラブ (杵岐)	1 3
松浦市役所 (松浦)	2 0
上五島ブローズ (上五島)	0 5
西九州三菱 (長崎)	2 21
親和銀行 (佐世保)	4 7
平戸クラブ (平戸)	2 0
たちばな信用金庫 (諫早)	9 8
九電長崎支店 (長崎)	2 1
波佐見野球クラブ (東彼)	1 1
飯盛クラブ (北高)	4 1
西海棒球队 (西彼)	0 8
ソニー長崎 (諫早)	11 1
富江クラブ (福江)	0 0
アケン医院マッスルズ (佐世保)	5 1
小値賀町体協 (県北)	1 12
巖原マリナーズ (対馬)	2 0
国見クラブ (南高)	0 0

天皇賜杯第56回全日本 9/17～:新潟県

親和銀行

- 【一】 3-0 柏崎市役所 (開催地)
- 【二】 1-0 徳島銀行 (徳島)
- 【三】 0-1 大阪市信用金庫 (大阪) = 優勝

平成13年に開催されたその他の競技会の戦績② (一般のみ)

第23回西日本1部県予選 4/7～:飯盛

ケンズガレージ(佐世保)	4
松石電設(諫早)	8 5
南串野球部(南高)	3 3
浜屋百貨店(長崎)	8 0
アスレックス(県北)	6 5
島クラブ(平戸)	8 2
福江球友会(福江)	6 2
飯盛クラブ(北高)	0 0
T E A M 橋口(大村)	5 6
西海棒球队(西彼)	1 2
安中クラブ(島原)	0 1
波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)	4 2
天星会(松浦)	5 1
舛田グループ(上五島)	5 5

第23回西日本大会1部 5/25～:高知県

- 【一】 4-7 芦北クラブ(熊本)

第23回西日本2部県予選 4/7～:松浦

アリアケジャパン(県北)	7
海自佐世保(佐世保)	8 2
A T M B(諫早)	7 7
シーバード(松浦)	2 9
新星クラブ(島原)	3 1
大村ベイスターズ(大村)	1 2
箱崎クラブ(壱岐)	4 0
巖原ファイターズ(対馬)	6 0
ピースクラブ(平戸)	6 1
アウトローズ(東彼)	5 1
森山クラブ(北高)	4 7
M D O(西彼)	2 2
千々石野球クラブ(南高)	5 4
征雄クラブ(上五島)	4 5
メンフッズ福江(福江)	1 1

(長崎支部は代表が西日本大会へ出場)

第23回西日本大会2部 5/18～:長崎県

長崎県で開催のため(全25チーム)、開催地から3チームが出場。予選会を経た2チームと長崎支部から[長崎県支払基金]が参加

◆千々石野球クラブ

- 【一】 4-0 遠藤建設(岡山)
- 【二】 7-10 桃太郎(大分)

◆A T M B

- 【一】 3-0 37ers(愛媛)
- 【二】 3-8 新田クラブ(大阪)

◆長崎県支払基金

- 【二】 4-2 新撰組(京都)
- 【準々】 1-4 徳島フォーティ(徳島)

第24回九州選手権予選 4/21～:長崎

親和銀行と三菱重工長崎が県代表に

第24回九州選手権 5/12～:宮崎県

◆(株)親和銀行

- 【一】 4-3 JA鹿児島経済連
- 【二】 4-0 仲宗根病院(大分)
- 【準】 7-2 九州電力熊本
- 【決】 4-1 東芝北九州

親和銀行は、第7、11、18回大会以来四度目の優勝

◆三菱重工長崎

- 【一】 3-4 チップ・ベースボールセンター(沖縄)

第5回西日本選手権予選 8/18～:佐世保

三菱重工長崎が優勝

第5回西日本選手権 11/9～:鳥取県

◆三菱重工長崎

- 【二】 6-1 チップ・ベースボールセンター(沖縄)
- 【三】 1-2 佐藤薬品工業(奈良)

第9回県壮年大会 10/27～:吉井、生月

松浦壮年クラブ(松浦)	4
長崎市役所(長崎)	4 3
轟壮年クラブ(北高)	2
北松壮年(県北)	5 1
豊玉壮年クラブ(対馬)	1 2
メンフッズ福江(福江)	2
大村市役所(大村)	2
40' O V E R S(佐世保)	13 6
ジョーズ壮年クラブ(諫早)	4
大瀬戸壮年野球部(西彼)	8
おじんクラブ(平戸)	1

高松宮賜杯第45回1部 7/6～:島原

上五島クラブ(上五島)	5
安中クラブ(島原)	6 2
九電長崎支店(長崎)	8 3
T E A M 橋口(大村)	7 3
大瀬戸クラブ(西彼)	2 0
三井楽クラブ(福江)	7 5
巖原レパーズ(対馬)	4 1
南串野球部(南高)	4 10
小長井クラブ(北高)	9 1
島クラブ(平戸)	2 2
ナインズ(県北)	2 2
ケンズガレージ(佐世保)	1 3
たちばな信用金庫(諫早)	2 2
波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)	2 0
松浦市役所(松浦)	1

九州ブロック(宮崎)で敗退

高松宮賜杯第45回2部 5/26～:波佐見

P A R A D O X(大村)	5
長崎東芝セラミックス(東彼)	6 0
九電佐世保(佐世保)	0 3
長崎市水道局(長崎)	7 2
新星クラブ(島原)	0 1
上対馬メッツ(対馬)	8 6
アリアケジャパン(県北)	4 0
征雄クラブ(上五島)	3 5
小川仏具クラブ(諫早)	2 10
M D O(西彼)	0 5
森山クラブ(北高)	4 3
有明クラブ(南高)	8 0
福江クラブ(福江)	7 1
西龍クラブ(平戸)	0 0
郷ノ浦ヤンキース(壱岐)	6 8
ドントポイマリズ(松浦)	3

九州ブロック(佐賀)で敗退

第53回県民体育大会 11/10～:長崎

(大村)大村市役所	1
(島原)新星クラブ	0 0
(福江)メンフッズ福江	0 1
(対馬)豊玉町野球部	3 5
(北高来)轟クラブ	0 3
(松浦)松浦市役所	7 3
(長崎)長崎市役所	7 4
(西彼杵)松島炭鉱野球ク	2 0
(平戸)平戸クラブ	9 7
(南松浦)富江クラブ	3 2
(諫早)ソニー長崎	4 3
(壱岐)郷ノ浦ヤンキース	2 6
(北松浦)宇久町体協野球部	0 0
(佐世保)アイン医院マッスルズ	3 6
(東彼杵)波佐見鴻ノ巣クラブ	2 7
(南高来)千々石町野球部	1